



平成18年3月期 第1四半期業績の概況（連結）
及び中間期・通期業績予想の修正（連結・個別）について

平成17年 8月19日

会社名 株式会社 ニレコ

(JASDAQ・コード番号：6863)

(URL <http://www.nireco.co.jp>)

代表者役職名 代表取締役社長
氏名 山田 秀丸
問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部門長
氏名 金子 晃

(Tel : (0426) 42-3111)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 ・ (無)

2. 平成18年3月期第1四半期業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 売上高（又はこれに相当する事項）

	百万円	%
18年 3月期第1四半期	1,812	(20.6)
17年 3月期第1四半期	1,502	(△7.6)
(参考) 17年 3月期	7,685	(8.2)

(注) 1. 売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[売上高（又は売上高に相当する事項）に関する補足説明]

当第1四半期における売上高は、概ね予想どおりに推移し、5月25日に開示いたしました中間期予想に対しては50.3%の達成率であり、前年同期比では20.6%の増加となっております。

また、受注高は全般的に好調であり、当初予想を上回っております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成18年3月期中間期・通期業績予想の修正について

(1) 平成18年3月期中間期の業績予想の修正

①平成18年3月期中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）の単体業績予想

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）	3,400百万円	140百万円	△120百万円
今回修正（B）	3,700	230	0
増減額（B－A）	300	90	120
増減率	8.8%	64.3%	－%
（ご参考）			
平成17年3月中間期実績	3,303百万円	83百万円	51百万円

②平成18年3月期中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）の連結業績予想

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）	3,600百万円	140百万円	△120百万円
今回修正（B）	3,900	230	0
増減額（B－A）	300	90	120
増減率	8.3%	64.3%	－%
（ご参考）			
平成17年3月期中間期	3,631百万円	121百万円	46百万円

(2) 平成18年3月期通期業績予想の修正

①平成18年3月期通期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の単体業績予想

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）	7,000百万円	400百万円	20百万円
今回修正（B）	7,500	460	140
増減額（B－A）	500	60	120
増減率	7.1%	15.0%	600.0%
（ご参考）			
平成17年3月期	6,949百万円	261百万円	112百万円

②平成18年3月期通期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の連結業績予想

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想（A）	7,700百万円	500百万円	50百万円
今回修正（B）	8,100	570	170
増減額（B－A）	400	70	120
増減率	5.2%	14.0%	240%
（ご参考）			
平成17年3月期	7,685百万円	359百万円	139百万円

(3). 修正の理由

今回の業績修正の理由は概ね下記に要約できます。

①増収効果

売上高について、第1四半期はほぼ予想どおりでしたが、第2四半期は予想を大きく上回る見込みであります。これが利益に貢献します。

②減損損失に係る繰延税金資産の計上

当中間期において、遊休土地について減損損失を計上します。（当初予定のとおり）今回、当該土地について売却の見通しがついたことから、当社といたしましては減損損失に係る繰延税金資産を計上することとしたものです。

③訴訟費用の確定

5月9日に提起され、6月15日に高裁にて決定がなされた当社の新株予約権の発行をめぐる訴訟については、当該訴訟費用は59百万円で確定し、当社は中間決算において特別損失として処理いたします。

(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績が記載の予想と大幅に異なる結果となる可能性があります。

以 上